

船舶事故等調査報告書

平成21年5月28日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009神第40号	
事故等名	引船平和丸衝突(岸壁)	
発生年月日時刻	平成21年1月12日08時35分ごろ	
発生場所	阪神港大阪区第4区L4岸壁	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年2月10日神戸・地方事故調査官が海難報告書を入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	引船 平和丸 196トン	
船種・船名・総トン数	121158	
船舶番号	有限会社平和海運	
船舶所有者等		
船種・船名・総トン数		
船舶番号(IMO 番号)		
船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	排気管及び防舷材が損傷	
	岸壁 なし	
事故等の経過	本船は、阪神港大阪区第4区R5岸壁へ着岸するフェリーの左舷船尾からタグラインを取り、着岸作業支援中にフェリー船尾が西寄りの突風を受けて対岸のL4岸壁へ圧流され始め、本船がフェリーとL4岸壁に挟まれるのを避けるために同岸壁から離れようとしたが圧流され、平成21年1月12日08時35分ごろ、船尾がL4岸壁に衝突した。当時天候は曇り、風速20m/s 前後の西風(突風時22m/s)が吹き、波高は約1mで、潮候は下げ潮の初期であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、フェリーの着岸作業支援中にフェリーが突風の影響を受けて対岸の岸壁へ圧流され始めたとき、自船が同岸壁から離れるのが遅れたため圧流された可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、フェリーの着岸作業支援中にフェリーが突風の影響を受けて対岸の岸壁へ圧流され始めたとき、自船が同岸壁から離れるのが遅れたため、圧流されて同岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	